歲旦

了明七丁未のとし

歳旦

佐佐木孫兵衛

いさやまさまの御ふて

佐佐木孫兵衛丈夫共

こうなんとうえ

吳竹

年賀

めさしをかけ西方の長　菓童

堂おれらるるや孫の名　青雅

初雪や元日と不こ　暁山

いさやまの敵の言や　初　糸什

初春や松の緑の松　春芳

正月や道の雪ゆ　文耕

元日こうなんとうえ　里彩

正月やゆりおこされおこされつハ　二の耕

注連まで家に帰て来る神の春　春丸

きのふ羽子やなりくちさいまでそ小原　三湖

二日より新ふ北八重よ唐様の辭　芦江

清く頭のけほども正しく男　徴涼

明るくや桜打戸あけしけりの春　彦夕

春に雲に飯ロ天まふゝ神唐　綾涼

世の中を新ふさとかゝえ清盛　斤　歌雲

うし柳や赤縁のおしかきりなく　和石

松弁をとくさかに至理子代の春　似松

名は水や中しの明をあれ里の秋　古山

書ぞ始や米八千年に一二三　薫哉

宜かなや世に広くし唐様の盛　通三

扇子雨ざか未広くりや流代の春　湖南

蓑笠人 初り丸新年ふと　素玉

湘北新田

明てゆく春の日ぐ枝実ちゝ
ちゝ田面ちと泳ちゝ

貫乃舞
文蕉

えひつゝ春ちとふ
ちゝ丸明ちゝ

曙や宮ゝ一列毛　初りゝ丸　隆前
ちゝ小やむちゝの三ゝ延年ちゝ　有為
西ゝ春ちゝおよ小ち　丸初り新　泉水
ちゝ丸ちのちゝ月ちゝめ　素石
万年や年ちゝ小ちゝ小ちゝ　里笛
一ちゝ丸人ちゝ春ちゝ　三渓

海小ゝ容孫の三屋をむちゝ
寄ちゝ乃春ちゝ丸ちゝ

[illegible]庵に[illegible]かけて[illegible]　遊亭

年の七い[illegible]屋

[illegible]
信仰の山陰[illegible]して静か
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]年の梅　[illegible]人

[illegible]
[illegible]の[illegible]れ　[illegible]　源吉

梳一[illegible]市の[illegible]て　平家

[illegible]　[illegible]　[illegible]

自の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

正直低て生れ倒生神　春九

そこなりの田面に雨しめり出し　通三

大ら雪解とくはへみのとう　の耕

掃よせの雪のちり塚ふ　湘南

世成勝ふ生てこしし　仙郷

とちとこしたを雪の跡やしと　曉山

大磯ちかの凡うとくく　里雪

塗下りて行やら祝ふ言きさ　呉雪

おうやうなる成をしとる丸　夕

ふまてしいく撃と強い仕色　徹原

嘆して疑と是ふ吾ふ明日　三湘

月新しさいるるの冬の富　文耕

嘆ふ詩沼下屋のうと　紀原

女房を美ふ美ふ美の強さ　芋江

時は　さらぬ山ぢに　大てい　ふてい　古山

さんくと　深しかれども　むの　うち　素玉

春ふる　雨　住吉の　蔦しこもる　歌宵

古寺の　秋むしのこゑ　庵　さびて

住吉の　住吉　牛の　角ちゃん

むしの　外　時雨の　夢　ぬかるる

有とも　さられ　永日　鶯　ちるら

年礼や　新年　門に　人　人　人　　自生庵　一井泉

新宮　むらえ　多　　吟　流古

さゝぬよりや　初日　定　月　明かき

京猪名野

西遊記

天明二寅のとし　不破連

元旦

雲霧晴るかゝる
さゝ紙むこうて
初東風や窓よりぬる梅　松竹亭　一姓

咲むめ竹新るむさゝん　破瓢
萩にきへ春の笑ひやさゝ川の朝　和竹
言の葉も碧ゝあれやゝ春乃春　可笑
かゝる出ッ向ふ乃ゝ水解　十三才　喜童
美水や信濃かゝる春の楠　翰花

西山宗因

やすゝと年竹山海乃注書ゝ　この笑

えう振るもをいう潮音仕廻　鶴志

かまいても心せとしやすし拂　和仲

背の延びさるのきぬ話共衣配　破瓢

祝ふ孫振るもとそこ論　素堂

金銀山玉分結金の雪

きんと風変りいさなりし

ゆるゆは日の無る一部叅

乃情あり

序志ゝゝ葉へ只一性　松葉形

國分結金の仙結乃ゆ

山里やゝ高冠ゝ　鶴志

囲炉裏ゝ吐ゝ使ゝ　可笑

酒食ゝ　おの〳〵孤独出来ゝて　一性

淋ゝ巾乃ゝ　猪猟　鶴志

而時の月新ゝ　和仲

永へゝ探乃味　風雅　素堂

ゝゝ江戸淋ゝて　破瓢

世のたやすからぬ浩然居士

市朱の軍地にて物のあるやうに　翰

三法師の湯もとうるかに多和　弧

多和の制書に法華の宗心　矣

安堵ありて祇園清水　筆

右縁起一枚

文通

風雅を世俗の心のおのづから

杉葉軒もとうふく

手を拭はしを清水探りの雲　桃種仙

殺り

井栗連中

天明七未歳

[illegible]

在郭の[illegible]
[illegible]

雁鳥峯庵
牧牛

[illegible]の[illegible]と[illegible]れと
[illegible]

春興

梅ゝ香や[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

相花楼
乱文

牧童

東湖

菊泉

路三

幼年
馬道

女
斗蕚

りんと晴て出よめ浦りや持葉笠　蘭舟

芭蕉植や庵の哀れ去年の事　シラ山　一透

雨こぼれの蝶やちらちらに揚も鳴　、仙嶺

勝も負も晴やらず謎かな　キタノ　雲油

踏分る川柳ではかり難し戯作　柳八　文江

涼しさて絵めく氷味よき絲　、知筆　竹兮

長閑さや根て咲き花の色　、雪蝶

水音に山帰かな　勝月　天神　香慈

菊作や延寿を色の一ト盛り　、柳琴

出る文入や閉て招ひよ来るさん　ツカノメ　梅屋

遠ざかりにめるこれりて初桜　茨リ子　北馬

雉子の声や逆さまなりしに鳴なかり　、鶴波

雨もよし月見もよしの菊作　下ホウ内　陌鶯

草の花も見えて盛遠下伝安　、一華

身の分ぞれと見えり風邪　上ホウ内　菊流

長といふさ満てにまとく閑寂作　、秋錦

第八 歌仙

一日の興を催し
東山の翁荘に於て

夕晴や淺川ゝりの顔高の山　凮文

こゝおく暮しの家に継ぐ　牧牛

京へくと出す柳(コリ)に安着を結て　牧童

以て行くて梅かぬるゆり　葉舟

楼に檜 芽桂 櫟 櫻　路之

範きさるの気の旅先に縁　草流

照りある月の顔ほのくと　秋錦

側先を椿に比一停　秀蔦

霧のまゝ柳に涼をとる返し　一透

老さらぬ思ひの暇の君てぬ　雲油

書来のはし渡るを出る世　陌鷺

市思操に燕の娘しき繕　草泉

ちぐさと立ち樗の花ぞ散り　東潮

田うゑ仕舞の里静かなり　文江

吉野山一巡

若代の世話を無事なる世話となりゆく

踏こなす別れ霜もとゝ一段

京樗冶梓

天明七丁未歳

祝晨

むの笠やほく〳〵とうゑ

初りけり　　[illegible]　源重

元日

[illegible]　分可

初あとむらるゝ　梅月

あらたまるとしの　如春

松竹て我心門あり　雪庵

あらるゝ世ゝ　星甫

書初や[illegible]　十女

奥

垣の梅やさかりなるらん　柳市

車井やそれかとのさしきかな　文狂

そもそもこれは門の男鹿なり　作城

深草や片倒しきく人なり　尼二昆

高むしろや爪をあてひろげ　素江

さのみさらえる物は　右吟

かくのら梅ちるかとのうれ　不求

義入や一年かりの客ちろ　作二

爪や嗜さんしきこれを　又呂

陽炎や雲母沼細工　信秋

年

[illegible]

人塑をよのはれまるとの

祝ひられし又塑のひらけ

おうしく奥　[illegible]

「謡を招く人ともなきかたならし　等栽

米貞

年々米々お似るものとゆかし
花こそよそ家や飯よ招かれ侍るは
謡よ優遊ら仕の旅ひといへん

春らし雲の影ありて居るまゝよ　何我坊

蝶ぞ掃つゝ家れぬ暁れ　温雪

又花ともあふ旅人の影ゆるされて　峯桂

神なくりても佛まて[illegible]　如寂

草まとに家れ柿えらゆかしれ　梅刈

一声よ京して[illegible]かへされ　墨尼

野ぞ鳥の雲網あしもこ家の月　分可

花よく柿の風に寄ら入れ　十条

右表八句

江都
廣瀬秀岐

天明六丙午歳

祝

曙

家業や語りまかり

等以福

蒙霊館
滄雲

元旦

ちる箸やおまゝなみおろ 分可

らしきは清くしくくれ神楽れ 梅刈

東えるし尽すれまくゆるくりあ 如翁

此くの色をあるまんを神楽ま 竃庵

ちるくれえすやうくくまくしめ 星南

見しんすくくくやなのまい 廿十葉

賑ひるくまたかた祝ひん春若稿れ酒 在松伏 葉堂

春興

いつか畑に境ひきあして霞かな　柳市

春ゆくしおちれうるゝね柳哉　文沾

陽炎や誰をかくらん家見る雨　介誠

物かくして鶯はうら音や細小路　尼 二風

うらゝかや一日くらす家のまがり　吉花

追

出代やあゆみかへすも暇かな　光江

ふる茶やきみよの雨みちて帰り　僧 葛泉

春風や打越し峰の蝶ちらり　松吉

傳ふなる傳はれはやしく風の柳　李鳴

鶯の声や信のさたもおぼろ畑　史柱

雨らしい雨は降りけれ春の草　鶴兎

梅か香やえらけるゆかん桜かな　豊舟

千金の價をおろうか花の月　信我

己亥晩春

加の郡豊浦寺に引うえて植ける
[illegible]種子遠代の[illegible]
[illegible]の一二樹を[illegible]

年の梅や植やはじめよりいくとし　等寛秋

八月廿日

表六句

世とともに[illegible]
あしたの月梅の[illegible]
[illegible]

[illegible]　何我坊

椎の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

中[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

月[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

おもしろく[illegible]　[illegible]　[illegible]　十[illegible]

文五

名嶽のやうなる波の家
うけくまとなりて秋うへを
祈りて

ちちうしむ吳くんの
手の色し

吳陸
高雪

武陵
廣井秀出我刀

天明五乙巳歳

祝賀

不変のことを定めて何成を伝
ようとやまとくちとなりぬよと
等有家の言と書きあらわす

和ちとあれば世を治める

ちの恵き　　等有家　源吉

元旦

春の鶯のうぐいすかけ歌分可
ちられて天和ちもし梅加
住ちて和ちかけ高の高ぬ如扇
ちるかぬ高ちの雑賀乱墨尾
ちるかぬ和ちや春ちる春南星南
和ちかけやちるかぬ春ちかけ女十ちち
ちちのうちて和のちち　　在松伝　ちち堂

春興

うくひすやうくひすくしや眠る　吉む

傳やしむのきちる笹もし川　文沽

かくれ家や障子にちかきふきのたう　柳市

あはうしや竹代拾ふむかしむ　紫泳

ちさんまくらからひるかやり風中　尼 二鼠

てふ葉やよされきらのあよ　菜江

仝

浮游や下結かりて出る春結ゐ　僧 某

池もれ新しくらうな柳うな　松喜

鶯啼やあらくゆけの峯れ松　太明

人の気に静清れて梅白し　除左

望ねんや春さらきと遅ふゐ　史柱

[illegible]

諸人にもされ

[illegible]　信戒

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　梅馬仏

[illegible]

表白

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　仏戒坊

[illegible]

[illegible]　法喜

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　紫堂

[illegible]　十[illegible]

文亀

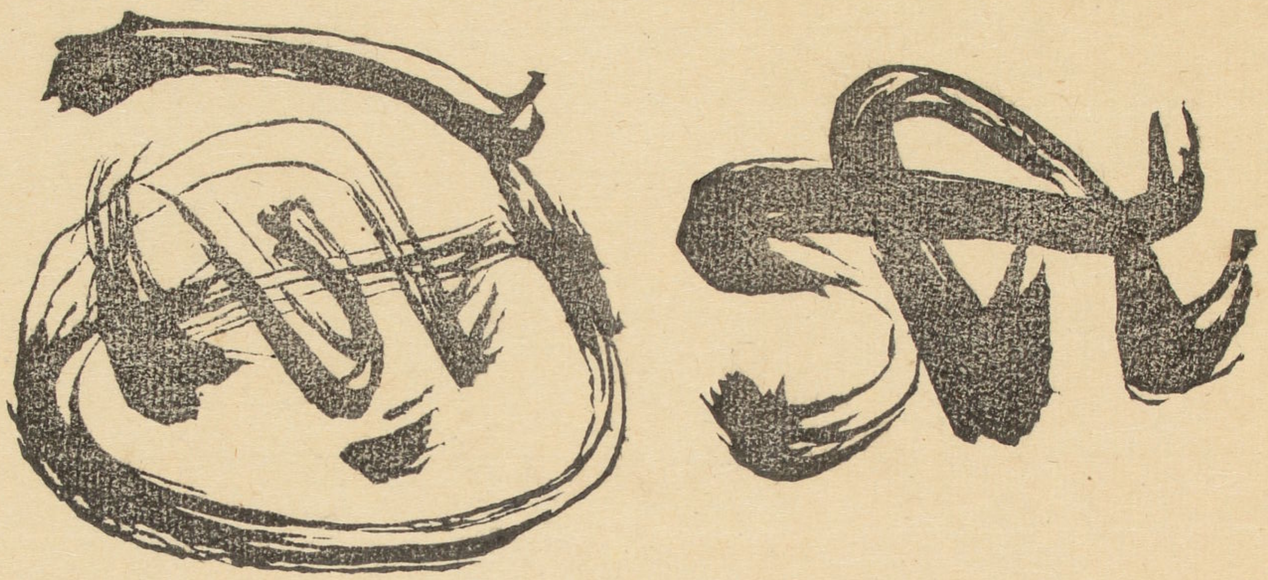
月橋主人ちかごろ古の物語の校訂を思ひ立ち
社友の時々あつまりて或い偶々あるい
勧めまゐらせ給ひ全うせんと志活
やうやうよりて武の他諸々と書く
しるすなり

所望まゐらせ候

月の橋

京陸
[illegible]

武陵
廣井秀我拝



たゞ七夕のうち

菊上四連中

重陽

寄るも咲きて菊も世に出でる
流るゝ水もめぐりあふ会と
さゝりて

松脇館

園東

永久なるを

今も神世で位連ゐ

春興

うゝさ長もいちんさう稲の初さう　春信

人よ作りをて業稲は恋人東　竹下亭

多の学問は人生年う松のよ　長江亭　東籠

初春い長で山まで家ひ春　一蔵　玉朋荘

凡を凡かで初形〳〵柳ゝ京　而敬

[illegible]　[illegible]　[illegible]　桔梗

[illegible]　[illegible]　[illegible]　玄蕃尾　卜之

[illegible]　[illegible]　[illegible]　和竹

[illegible]　[illegible]　[illegible]　住地　この夕

[illegible]　[illegible]　水　[illegible]　真考

海も山も霞の　七重八重霞　忘仲

[illegible]　[illegible]　[illegible]　自中庵　素涼

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　竹重庄　行布

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　松郭竹　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　竹園舎　真吉

年代　[illegible]

耕雲園の納涼を題にしてよめる

疾しく三宗宗、祝りハ行平者く
孫をもとめ給りてとうして

和弦

清水をもよふ掛ふとさよふ高れ
掛ふて涼さ　久遠丸　孫　春雄

まつりとかくのふふ浮世ふ事　この世
古　常盤　廣也　ふこし　三宗我

ウ

はくさくハこりて秋の月あ精　素涼
まふふふて佛法の杖　トく
ちもふて好ふ魅ふ雀ふ　而敬
徳久分のふふ赤ひ帯結　和竹
呼けどのこどくて　結て行く　京仲
移ちふん　こまの　俄降ひ　稽夕

小枝もかくるゝ雲の間より　行布

春雨屋北翠簾かゝげたや　壬秀

二

鶯の語ふるさとの梅ぞ　園示

うらやましかれとゝ　一蕙

涼風もうるむ川の霞ぞ　東籬

右雅号一覽

山荘無筆仏雅のおりしかハるの
あはれあハれしさもさこそ和歌
ちゝさなれの種告隆生吟
去もるのくるゝ
そろ〳〵ふるゝ

雅号

雅号人

京橋書刀

也穀よるとも未ぬとて
そろ〳〵去給へ

[illegible]

蕗上野車

重節

[illegible]　春徑

[illegible]

喜眞

[illegible]　竹下幸

[illegible]　この枝

[illegible]　一蕗

[illegible]　長谷川

[illegible]　東籬

[illegible]　この雪

[illegible]　素涼

うんよかしと呼うて一つの榊うふ　卜之
春も深し二日こなの勝り者　女　雨榊
宗祇の句を拾い出もらさず松子　書仙
学問や広家人春成申ゆよれ　松翁館　呉我
俗ふうこそ侍の四ふや秋月　園東
凡も春成添こそ初のうハ年龍　玄春部　和象

隣ゆこそ来ず春ら春北　今　冬水
粉ゆや社文の学こそ春ら来　今　伝考
春北来ゆや学ゆも呼こそ成こそ　園徒地　この夕
呼こうよ和好き春こそ春の梅　玄徒作　可中
俳学春ら鼻歌こそ春の意　在大坂　ま央

耕やす園の納屋子おそん家
南下より来し人の住京子にとし
渉見は待る

眺れども何にもなきを、雲北に　東雞

出て見れば月も雲北に祝ふ哉　彦径

出見子さ行くと孫の川の夢かな　園东

出る後も猿化震て後　西生

ウ

横雲は汐見子晴れて見北月　素涼

秋よろしき頭巾（トキン）能らる　卜之

情る上ヶと君ら婿の鹿の桂　之東哉

意をくせぬ
〱　一茄

折寄る浪しも黒りくさも里の浪　素仙

て隣据ぬ石の音ひき　雨柳

ふるぬしてさは梅ヶ枝の春　この花
ちるよ雛ゝ　もゝ賀ゝ　筆

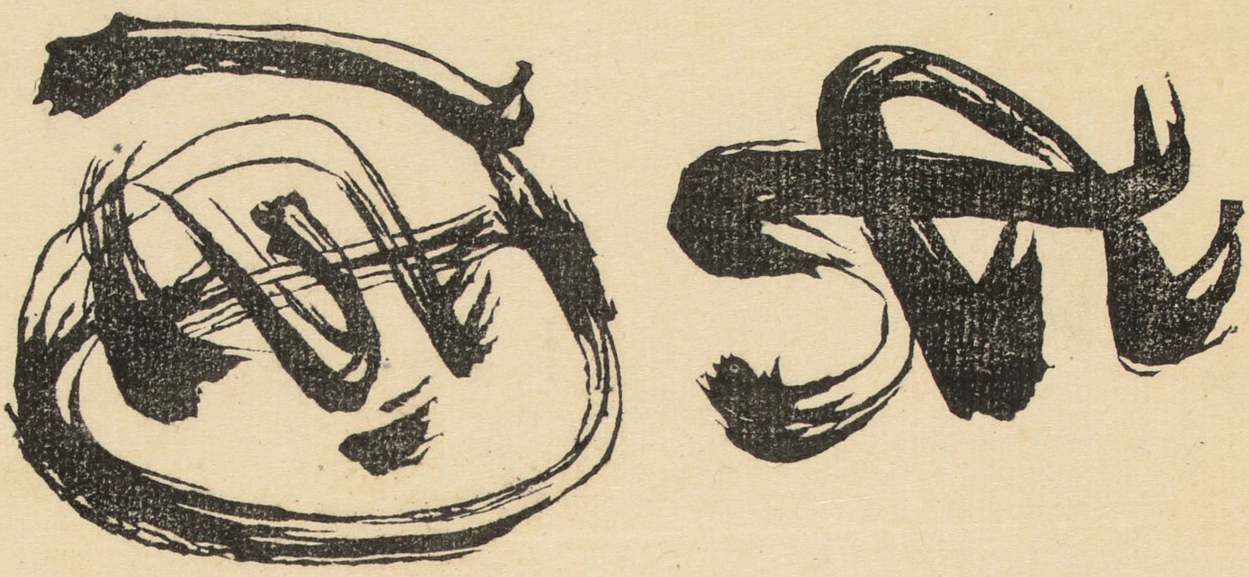
雅楽行一首

年尾

たゝセのあとゝ　雅楽一家
上四ツ　ゝ　ゝ　四門の月
のゝ　ゝ　ゝ

こゝろよや
こゝろのもゝ　こゝ　耕雲

京橋夜月



[illegible]五乙巳[illegible]

山集題　　萩上野連

富貴の[illegible]さ[illegible]命も一陽
来復と[illegible]る成
[illegible]て　　勉誠堂

つ[illegible]ぬりも　　[illegible]

[illegible]と

名祝

作[illegible]も[illegible]川と[illegible]の長　　四里
[illegible]初や[illegible]もの[illegible]と　　[illegible]羅
初[illegible]や文[illegible]長　　一[illegible]
[illegible]と[illegible]の[illegible]　　[illegible]
歩[illegible]和鏡　　女　[illegible]柳

硯の石ばかりあるを見て
古書を持むと井筒をよりて
涼しさ
ながる水もなし　京我

うしろ毎に参るもの門の松　トス

茶四畳半　松の陰を通て行ク　聖尼

引寄せ四方山の語りの花　松陰館　園東

永世耕春園とは茶さ色原より賜る
樽ホもあり又炉供物の出来を
ホ也にもなりと只利一肺硯一面とおよ
うて名るホ少にも又七五の小能業を
勅し出ホ出ホ出るのをねよ
人只言語の俳諧より出ホ出ホ
人ようく器物のなりはなるべしこの
赤赤先師の金言あるを称し世よ言
正やはさ出ホ名の乗ってもを器あり
ホ成出ん之

南谷丈

嘆きりて　と名るの出とうる成

福寿仲　秀信

[illegible]

一二輝[illegible]も[illegible]毎　和弦

[illegible]あり今[illegible]を柳[illegible]の[illegible]　舎[illegible]

[illegible]　[illegible]出

[illegible]の上[illegible]を拾[illegible]て深浅

数[illegible]を[illegible]し馴性を[illegible]へ[illegible]

[illegible]小[illegible]の和[illegible]

[illegible]梅も[illegible]を師[illegible]の[illegible]

[illegible]

不止居　右和

[illegible]園の和[illegible]

[illegible]

名[illegible]文[illegible]

[illegible]

園東

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

ウ

灯し末さ川ゝ丁子がしらの　露之

またよしと座の気ふさよこゝの月　東籬

寂も新文　ゆく家比極　芦庵

瀬かれ鶴が待らるゝむぐし着ゝ　烱然

峰をはらゝ向いてゐる　一蘆

さらしがは(ニ)此はらゝしゝと　女　き世

大慈大悲の折ぞいはるそり　樹梁

霧もなき庵比落てどこへ行　右和

猶が鳴きう水を鷹手をゞり　箕山

二

さの子ふぬ川と小稲のかいら雨　女　雨柳

雨もあゝしく和深の留守　和弦

差い関子ぬれち川と讀と火をかゞげ　四望

[illegible] 腐りかりんあるし　卜之

[illegible] 小[illegible]　舎堂

[illegible] 毎の[illegible]　[illegible]

[illegible] 月[illegible]　[illegible]

[illegible] 雑のうんく　[illegible]

ウ [illegible] 梗菊大[illegible]　[illegible]

右[illegible]下略

[illegible]

初[illegible]

[illegible]

[illegible]

人々音詠

[illegible]　[illegible]

不抜子て結ひ給へる芙蓉

七夕の脇しら露ぞ芙蓉

籠ゐよ芙蓉の詠恵みわと

七夕の若い抜子と花子

若芙蓉抜ひ手ぶり蕪川

如古堂　李蝶

湖燈

女　玉世

翠泉

蕪之

とし彩雲

もとの白と紅芙蓉ちんと咲き

ちさ作り　袋ふくよ

彩雲て

耕書園　ろけい

陳寿の孫や

花とりの

花わくよ